



## 常設資源ステーション (9月議会一般質問から)

「9月議会では、常設資源ステーションについて、一般質問しました。」  
「常設資源ステーション」について、議論されました。

いっそ、現場所の内壁を取り払つて広くするのはどうかと質したところ、ますます搬入



處をここ数年要望してきました。駐車スペースの確保など立地条件を満たす所が見つかりませんでした。

## **増設・移設の考え方 →分散利用を勧める**

# でるでる | ハース

令和4年秋号  
発行  
んごう照代後援会  
市一色町味浜北乾地58

買物支援について再度、その進捗状況を質しました。幡豆町のほか、東部地区では羽角町・室町・駒場町・小島住宅、八ツ面地区では志籠谷町や中野郷住宅、米津地区では宮浦住宅と確実に移動販売車による支援が広がっていることが確認できました。地域包括支援センターや高齢者のニーズを把握し、各事業者と交渉を長寿課との協働で



重ね、住民サービスの拡充へと成果を出し評価してきたいと思います。

**買物困難な高齢者支援  
→移動販売車の拡充で**

車場内での車の行駆き来に今以上の支障を来すこと、利用者の利便性向上にはつながらないとの考え方からダメとのこと。  
一色町の旧子育て支援センター跡地も候補として挙がつたものの、条件を

満たすに至らず却下、米津や吉良地区にある既存ステーションへの分散を呼びかけ利用してもらいうことが望ましい。これからも新しい市街化区域などでの答弁を調査したいシヨンの候源スティッシュの答弁でした。

評の「いこまいか」<sup>1</sup>といふ点では、好評の「豆地区」で、吉良幡豆地区の医療品が、追加され、東鹿川地区<sup>2</sup>ではエリア選択制になること、地図では鉄道アクセス向上と、福地駅がこれまでの地図上に追加されたため、福地駅が買物の「豆地区」へ向かうと、吉良幡豆地区の医療品が、追加されることがなりました。<sup>3</sup>

安心しました。  
ただし、スタッ  
フも専門知識を持つ  
ているとは限らな  
いということも頭  
に入れておく必要  
があります。●

ので、その点の成  
果と課題を尋ねま  
してすに係し報場員援て  
いい比が、を所な事は移  
る環較築顔関業所や動  
ど境的かの見利用者や販  
のが氣れ、えが民介売  
こ作づき異變居宅介護支  
かられや閑委託する

★ 対象者 市内在住、満65歳以上の人、又はその世帯の構成員  
★ 補助金額 購入費用（税込）の2分の1以内（上限7千円）  
★ 問い合わせ 危機管理課  
電話 652137

★補助対象装置  
『特殊詐欺対策電話装置』に対して

オレオレ詐欺など  
が一向に減らない  
ことから、次のよ  
うな補助金事業が  
10月1日から始ま  
ります。

## 補助金の お知らせ

区分	中学校区	受付開始	式典時間
1部	鶴城・平坂	9：15	10:00~10:40
2部	一色・佐久島 吉良・幡豆	11：45	0:30~13:10
3部	西尾・寺津 福地・東部	14：15	15:00~15:40

○令和5年1月8日(日)

去る9月1日、会派新政令和として  
来年度の予算について市長要望を行  
いました。

予算要望



- ・天候等に左右されず年間通じての授業が実施できる
- ・専門インストラクター指導により泳力向上に繋がる
- ・プールの維持管理不要で教員の負担軽減となる

この程、保護者・児童・教員対象にこの授業についてのアンケート調査が行われ、90%以上の方から好評の結果が出ました。

西尾市の小学校  
ブルの約8割が  
建設後40年以上が  
経過し、故障など  
も頻発しています。



以上のこととが数育委員会9月定例会で発表されました。それに加えて、新たな校外屋内プールについて、地域的移動時間・地域的バランスを考慮しながら、市の南部地域に必要であると踏み込んだ中間報告がなされました。

・冬季授業での寒さ対策などの健康管理が必要  
・バスでの往復移動時間を考慮しなければならない

【コスト比較】

①学校プールを全て更新し50年間維持管理＝約94億円  
②水泳指導を委託新たな校外屋内プール建設し50年間維持管理＝約76億円

ほんこう時代  
ブログ更新中

↑  
コチラから

一 舶質問登場に  
12月1日にできるよ  
う準備しています。

## 12月議会の お知らせ

訴訟に発展し、会  
後動きがあること  
が予想されます。

産廃業者ケーライーは、残土置き場、太陽光発電施設へと計画変更し、市との協議を求めていきます。「白紙撤回」無しに協議はありません。

産廃施設建設反対